

議 事 録

会議名	令和5年度川西市総合教育会議(第7回)		
事務局(担当課)	政策創造課		
開催日時	令和5年8月6日(日) 14時00分から16時00分		
開催場所	キセラ川西プラザ		
出席者	委員	川西市 越田市長 川西市教育委員会 石田教育長、坂本委員、倉見委員	
	関係職員	作田企画財政部長 岩脇教育推進部副部長	
	参加者	8名 ※市長と語るかわにし Meeting～学校教育のミライ～への参加	
	事務局	企画財政部政策創造課 植野主査、西寄主任、上田主任 教育推進部教育政策課 廣末主査	
傍聴の可否	可	傍聴者数	2人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 議事 市長と語るかわにし Meeting～学校教育のミライ～ 3 その他		
会議結果			

会議経過

発言者	発言内容等
市長	<p>総合教育会議は、市と教育委員会が教育に関して議論する場です。教育大綱策定にあたり、みなさんからさまざまな意見をいただくために、このような形での開催にしました。</p> <p>事前に各中学校と養護学校に伺い、児童・生徒との意見交流会を実施しました。教育というと、幼児教育から生涯教育と幅が広いので、この場では前半に意見交流会で提案を受けたテーマ「長期休暇」「給食について」と、後半に自由テーマで対話をさせていただきます。</p>
教育長	<p>市長部局とは別に教育委員会は教育長である私を含め5人で構成されています。本日はそこから3人が出席しています。教育長として協議内容をまとめたり、市長と協議したりしております。</p>
坂本委員	<p>川西市でこどもを4人育ててきました。皆さんと同じ保護者の立場で話したいです。みなさんのご意見を聞けることを楽しみにしております。</p>
倉見委員	<p>東京からではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>(事務局よりお願いとお知らせに関する説明)</p>
市長	<p>【テーマ1:長期休暇について】</p> <p>夏休みを短くして普段の平日の授業時間を短くしてほしい、冬休みは自由に過ごす時間が無いので、長くしてほしいなどの意見がありました。教育現場からは、春休みを長くできないかの相談が以前からあります。子どもたちだけでなく、家族の皆さんにとっても旅行や学習塾の関係など、重要な問題です。市の教育委員会に決定権がある事項なので、議論していきたいと考えています。</p>
教育長	<p>長期休暇は、今は夏休み6週間、春・冬2週間の計10週間となっています。長期休暇の見直しについては、さまざまところで話題となっています。校舎内に空調設備が設置されたことにより、夏季期間でも授業を受けることが可能となったこと、今の子どもたちの生活や教員のニーズにあっているのかが問題となっています。</p>
市長	<p>本日の参加者の皆さんは、保護者としてや、ご自身が長期休暇をどのように過ごしてきたかを踏まえて幅広いご意見を伺いたいと思っております。</p>
参加者	<p>もっと長い方がいいです。</p>
市長	<p>普段の授業が長くなっていいですか？</p>
参加者	<p>遊べるから夏休みが長い方がいいです。</p>
参加者	<p>夏休みは長い方がいいと思っています。登下校時の熱中症などが心配です。</p>
参加者	<p>3歳のこどもがいます。休みは短めの方がよいと思っています。共働きのため、学童の問題もあります。夏や猛暑になってきていますので、午前中のみにするのか検討いただきたいです。</p>

発言者	発言内容等
参加者	<p>長期休暇の長い短いの他に、その期間に子ども達がどう過ごすのかを考える必要があると思います。学童などの受け皿、地域の活動に参加したりなど環境をどのように整えるのか議論が必要です。</p>
教育長	<p>長期休暇は内部で検討していますが、今後も考えていきたいと思っています。ある中学校では秋休みとして1週間ほど休暇を導入した実績もあります。受験期の前に休みが入るのは子どもたちの好意的な意見が多かったです。休暇と日々の学習時間の配分を適時調整することは必要だと思います。ある町では、夏季休暇を1週間ほどとした実績があるが、これについても賛否両論あったようです。</p>
市長	<p>小学校では学童という場がありますが、中学校になると急に自習の場所がなくなってしまう問題があります。休暇中の子どもたちの居場所、環境を整えること、普段の学習の時間配分など適切に運用していきたいと思っています。</p>
参加者	<p>春休みを長くすることで、教員の異動時期に余裕を持たせることができ、新しく受け持つ生徒を知る機会をつくれ、教育の質が向上すると思います。平日の授業時間減らす案も、教員の一日の事務時間の削減にもつながるため教育の質向上につながると思います。</p>
参加者	<p>教員の方の引き継ぎなどを見ていて、大変な思いをされていると感じていたため、教員のためにも春休みが延びるのは良いと思っています。 中学生の子ども意見を聞くと、課題や塾の関係から夏休みは長なくて良いと思っています。</p>
参加者	<p>夏休みは短くてよいと思っています。お盆と前後のみの4週間程度で良いと思います。学校の課題と学習塾の課題とも重なり、スケジュールの管理が難しいです。</p>
市長	<p>長期休暇の学校の課題については、中学生からいろいろな意見をもらいました。中学校は各教科ごとに課題がでるため、課題量が増える傾向があると感じています。</p>
教育長	<p>春休みは人事異動から1週間程度しかないので、新しい年度の方針や引継ぎが慌ただしいなか行われています。春休みの長期化は有意義だと思います。 夏休みについては、9月から学校に来れない子どもも増えている状況があり、議論が必要です。家庭での時間が増えると、食事や生活面などの家庭の状況によって左右されてしまう側面があります。</p>
参加者	<p>夏休みの部活動を休みはできないのでしょうか。部活を13時～18時まで実施している現状があると思います。熱中症の可能性が高まるなど、部活の長時間化が心配です。</p>
参加者	<p>自身の子どものときより、熱中症などのリスクが高まっています。明確なルールなどに従った対応が徹底できていないような気がします。 民間のプールの活用などの実施の可否についても考えていければと思います。 また、夏季期間は夕方以降に授業を行うなど、柔軟な対応ができるのではないのでしょうか。</p>
教育長	<p>市内の部活動については、暑さ指数(WBGT)を測り、部活実施の判断をしています。教育委員会からも部活動の顧問による指数の測定、実施管理を徹底するよう通知しています。</p>

発言者	発言内容等
市長	<p>大会時の実施判断については、運営面など難しい部分もあります。 夏休みはまとめて練習できる機会になること、規則正しい生活を期待している部分があります。</p> <p>プールのあり方については、費用対効果の側面もあり、大きな変更は難しいです。 授業の夕方開始や早朝実施については、社会的な活動時間との調整もあり課題は多いと思います。</p>
坂本委員	<p>長期休暇中の学童の時間が長く、子どもが負担に感じているとの意見もあります。春休みの長期化は以前から願っていた部分ですね。</p>
倉見委員	<p>以前と今で大きく違う部分としては、空調面の設備が整っているということです。 共働き世帯が増え、学童の問題が発生していることがあります。 このようなことも配慮して、運用は変えていけるのではないのでしょうか。</p>
参加者	<p>学校での脱水、熱中症対策をしてもらえらるなら、期間を短くできると思います。</p>
市長	<p>こども達の安全面が担保できるなら、運用の変更も議論できると思います。</p>
市長	<p>【テーマ2:給食について】</p> <p>生徒の声として、フードロスの問題をあげてくれています。ふりかけの持ち込みを許可してほしいや、給食のメニューを増やしてほしいなどの声もありました。 物価高騰により、牛乳の単価があがっているのでおかずの量が減っているなどの課題があります。市が負担して、値上げせずにより良い給食を提供するなど対応しています。</p>
教育長	<p>小学校給食を自校調理方式をとっており、個別対応できるので配分や栄養管理など柔軟な対応が可能です。また、中学校給食はセンター調理方式のため、アレルギー対応がしっかりできています。しかし、フードロスなどへの対応は柔軟に出来ないなどの問題があります。 栄養や食の安全などを管理していくことが重要ではありますが、やはり食の楽しさを重視することが大切で、福祉面について配慮しながらも推進していきたいです。</p>
市長	<p>ふりかけについては食中毒の危険性があるため持ち込みを禁止している状況があるが、今後検討していくことが必要と思います。 給食にとって大切なものは何かを議論していきたいです。価格を上げてもおいしいものを提供したほうがよいのかなど考えていきたいと思います。</p>
参加者	<p>PTAでも議論してきた経緯があります。男女でも意見に違いが出ていました。ごはんの量が多いとの意見が多く、食べ残しへの対応を苦慮しています。一律の量を食べなければならないことは現実的ではないと思います。</p>
参加者	<p>生徒として、昨年センター方式の給食を食べてきましたが、ご飯の量が多く食べきれない現状は良くないです。廃棄ではなく肥料に使用したりなどがあれば良いと思います。</p>
参加者	<p>給食のメニューが偏っている(もやし、きゅうり)、お肉を食べたいのに不満があると聞きました。</p>

発言者	発言内容等
	<p>栄養面の配慮もあると思いますが、価格が上がってもいいので、おいしくお腹がいっぱいになるものが良いと思います。</p>
参加者	<p>冷凍みかんなどがあまり出なくなりましたね。</p>
教育長	<p>メニューについては栄養士、調理師が栄養面などを考慮しながら長期的に決めています。また、小学校・中学校ではメニューは異なっています。</p>
市長	<p>数ヶ月先までメニューを長期的に決めているのは、大量に発注するためであり、細かな変更は難しい部分があります。</p>
参加者	<p>外国にルーツがある子どもたちを支援してきました。宗教的なこともあり、細かな食材を伝えていただけるのは有意義だと感じていました。</p> <p>アレルギーについても、教員の方々の対応の大変さは感じていました。</p>
参加者	<p>昔の給食との変化点をお伺いしたいです。メニューは栄養素重視の設定でよいと思います。給食費をあげれば質が良くなるのか、国からの補助などはあるのかといった点はどうか。</p>
市長	<p>国からは物価高騰に対する補助がありましたので、去年は給食の財源とした経緯があります。一方で、今年は補助が少ないため見直しが必要です。適正な価格と内容のバランスを考えて、満足度を上げていきたいと思っている。なお、川西市の給食は米飯を中心としています。</p>
参加者	<p>給食表を配ってくれるが、市内全域共通ですか。</p> <p>たまに給食が休みの時があり、持ってくるよう指示があります。前もって給食表に載せておいてほしいです。</p>
教育長	<p>各学校の行事などの予定により、休みの日が違うので給食表は一律のものを配布しています。各学校、各学年ごとの行事をすべて給食表に反映させることは事務的に難しいと思います。</p>
参加者	<p>米飯中心となっても食べ残しのないよう、汁物や米の種類、味付けや食材の見直しについては、時代にあわせた対応をしてほしいです。バイキングなど新たな試みをしてはどうでしょうか。</p> <p>川西市は給食センターを最後にいれましたが、どのような考えをもっていますか。</p>
市長	<p>川西市の中学校給食センターの一番の特徴は、主要28品目のアレルギー対応ができることです。他の自治体でも聞かない特徴です。</p>
参加者	<p>私が給食を食べていた頃は、コッペパンや食パン、クラッカーが出ていました。牛乳も今の形とは違っていました。牛乳に合わせるためにパンにすることも検討していただきたいです。</p>
教育長	<p>食の問題は多岐に渡るので、どこまで対応するべきかは悩むところです。中学校給食についての意見は賛否両論である状況です。子どもたちにとって嬉しいのはお弁当ではあると思います。ただ、福祉の面から見ると、お弁当の対応は家庭による差が大きいので給食の必要性は高</p>

発言者	発言内容等
	<p>いと思います。</p> <p>米飯給食のため和食中心で、薄味としています。牛乳は栄養面を重視してたが、米飯と合わないとの意見もあるので代換え案を模索しています。おかず中心など現代にあわせた対応も必要だと思っています。</p>
坂本委員	<p>私の子どもがアレルギーだったため、給食を待ち望んでいました。知り合いの意見も聞きましたが、給食センターのアレルギー対応すばらしいと思います。値上げについては、どのようなものを作るようになるのかを示していきながら、検討していく必要があると思います。</p>
倉見委員	<p>中学生の発達段階から考えると、各家庭の状況に左右されない給食の存在は重要です。価格の面では現時点で対応できることは少ないと思いますが、量への調節対応は柔軟に実施していくことが可能だと考えていますので、検討が必要だと思っています。</p>
市長	<p>意見交流会で出た他の中学生からの声としては「少人数で授業を受けられるようにしてほしい」「他の学校やクラスの授業を受けてみたい」「自分たちでお互いに勉強を教えたい」という意見が中学生からありました。</p> <p>部活動については、今年後5時までとなっており、土日もどちらかのみしか活動ができない形になっています。部活動をやりたいと思っている子どもたちの環境をどう整えるのかが課題となっています。今は自転車通学を認めていませんが、東谷中学校などで自転車通学の許可をしてほしいなど意見がありました。</p>
参加者	<p>日本語教師をしており、外国にルーツのある子どもたちをサポートしてきました。</p> <p>小学校や中学校でサポートのために授業に参加するが、教員の工夫が多く感動しています。ただ、先生によって差が大きいと感じており、教員同士で共有できる場が必要ではないかと思っています。</p>
教育長	<p>文部科学省、経済産業省が共同で、令和の時代にあった教育の進め方を提示しています。そこで個別最適な学びと協働的な学びが提唱されています。</p> <p>将来、生成 AI の存在により、通常の事務作業がなくなる可能性があります。子どもたちが就く職業についても変化が大きいので、対応することができる教育を提供していきたいです。一人一台のタブレットの配布により、ギガスクールへの対応等も実施できたことはよかったと思います。各学校でも研修を実施しており、市指定の研修会も行っています。幼児教育保育分野ではそれぞれ興味のあることを積極的に取り組んでいる状況があり、見習っていく必要があります。</p>
市長	<p>通常は各分野ごとに人を雇い、各分野で研修しますが、川西市では学校教育と幼児教育などを縦割りにするのではなく、横の繋がりを重視し研修などを実施することで、良い効果が生まれてきています。</p>
参加者	<p>質問ができるように、数学の授業を2人の先生が実施していましたが、授業を聞くことに集中する必要があり、逆に質問がしにくいなどの場面がありました。</p>
市長	<p>川西市では先生を追加配置し、各学校に合わせて授業形態で授業ができる取り組みを実施しています。</p>

発言者	発言内容等
教育長	一つの授業で複数の教員を配置する同室複数の授業について、どのような実施が効果的なのかは学校でも検討していくことが重要です。授業で質問しにくいなどの問題は根源的な話であると思います。質問しにくい状況は見直さないといいけません。また、学年が上がるにつれ質問しなくなる状況も課題であると思っています。
参加者	教室が広がったらよいなと思います。狭い教室では集中しにくいです。
参加者	子どもが通う支援学級のクラスは広い空間なので集中しやすいんだと思います。
教育長	それぞれ音に敏感であったり違いがあるため、同じ空間に40人ほどの沢山の人がいることを負担を感じる子どもも多いです。様々な取組みを実施していきたいです。
市長	インクルーシブの支援をどうするか検討していくことが必要であり、子どもたちにどのようなサポートが適切なのかを個別に考え、対応していくことを重要視していきたいです。
参加者	川西小学校は、建物の空間・雰囲気工夫されており、内装が木になっていることや、他にも教室の隅に絨毯が引かれており、読書ができるスペースが用意されています。他の学校でもあればと思います。
参加者	私の時は、30人クラス(主担任1人・副担任1人)でしたが、主・副担任を分けずに15人学級というのは難しいでしょうか。私はクラスの数も多く、いじめを受けたため、学級定員は検討いただきたいと思っています。
教育長	<p>学級の定員は固定ではなく、教員の配置数によって変更は可能です。市内でも実験的に学級定員を減らして全員を担任にすることを実施しています。ただ、現在は教員の配置に余裕がないので、主・副担任制は実施出来ない場合もあります。</p> <p>いじめについては、大津市のいじめ問題もあったこと、法律もできたことから早期の対応などを徹底していきます。</p>
参加者	子どもが支援学級に通っています。支援学級の子ども同士でもめ事があったと聞きましたが、その際に、支援学級の先生から家庭でどのようなしつけをしているのかなどの発言を受けて、大変悲しい思いをしました。
市長	個別の事案についての発言は難しいですが、いじめなどについては教育委員会から私にも報告が入るようになってきました。他の市に比べても情報共有ができてきている状況にはあると思います。
教育長	<p>一般論としていじめに対する対応は厳しくなっており、いじめについての概念も変わってきています。いじめの規定も変わり、相手が不快な思いをしたらいじめであるとの考え方になっています。</p> <p>子ども同士の人間関係、出来事の中で成長していくことも時には必要であるため、すべてをいじめとして対応することには疑問が残ります。現場の実態と乖離もあると思いますが、教員はこの考え方でいじめ対応をしていく必要が出てきています。</p>

発言者	発言内容等
市長	<p>トラブルが全ていじめになってしまうと、大人が全て介入して解決させることが必要となってきてしまいます。これはこどもの人権にとって良いことなのでしょうか。形式上の問題として終了させるのではなく、こどもにとって良い方法を検討する必要があります。多様な子どもたちがいるなかで、教員の指導方法にも技術・知識が必要であると感じています。</p> <p>学校との関係は、保護者と教員が向き合う時間がすくなっている部分もあるため、その点も課題であると思っています。</p>
参加者	<p>スクールカウンセラーを数回受けましたが、予約が1ヶ月後であったため、カウンセラーの人数が足りていないと思いました。予約方法も先生を通じての予約だったことも現状に適さないと感じています。オンライン対応等検討してほしいです。</p>
教育長	<p>相談が1ヶ月後になったことは、相談件数が多いこと、継続して相談を複数回受ける方も多いことが要因です。先生を通じて予約することは是正する必要があると思います。オンラインなどの対応は今後、どのような形がよいか検討していきます。</p>
坂本委員	<p>夏休み間のこどもの居場所など、地域でできることも多いので考えていきたいと思いました。</p>
倉見委員	<p>様々な角度での多岐にわたる意見が多く、勉強になりました。</p> <p>多様な意見に全て応えることは難しいかもしれないが、検討していきたいです。</p>
教育長	<p>当事者である子どもたちの意見を聞く場がこれまで少なかったと反省しています。</p> <p>子どもが学校教育の当事者であるので、どのような考えをもっているのか、今度もアンケート等も含めて聞いていきたいです。子どもが当事者であるため授業改革は子どもたちの意見を教育大綱に取り入れていきたいと思っています。</p>
市長	<p>これまでのタウンミーティングをふまえて実施するパブリックコメントで、教育大綱(案)見ていただきたいです。</p> <p>また、市民のみなさまで作るものであるため協力していただきたいです。</p> <p>ぜひよろしく願いいたします。</p>